

言語学 A

山元啓史

東京工業大学

1 第2回

- テーマ: 二言語・多言語の使用
- 実技: 頻度を調べたら、グラフに書いてみる。
- 実技: $m \times n$ の分割表分析。
- 執筆: 1) 言語分析のテーマを選ぶ。2) リサーチ・クエスチョンを作る。

1.1 本日のディスカッション

1. 先週のアンケート結果を見て、その感想を話し合いなさい。
2. サピア=ウォーフの仮説は教科書のどこに書いてあるか。
3. サピア=ウォーフの仮説はどんな仮説かを説明しなさい。
4. サピア=ウォーフの仮説が正しいかどうかはどうすれば証明できるかを話し合いなさい。
5. ビデオ: プリティッシュとアメリカンを見て、どのように違うかをペアで確認しなさい。
6. プリティッシュイングリッシュとアメリカンイングリッシュをまねてみなさい。
7. プリティッシュイングリッシュとアメリカンイングリッシュの違いをノートに記しなさい。
8. 変種の例をあげてみなさい。
9. なぜ言語に変種が現れるのかを考えなさい。
10. 変種の研究するにはどのような方法を使えばよいか考えなさい。
11. 会話分析の方法とはどんな方法なのかを考え、何が明らかになるのかを話し合いなさい。
12. バイリンガリズムは教科書のどこに書いてありますか。
13. 一般にバイリンガルと言われている人たちを示すバイリンガルと教科書で言われているバイリンガルとの違いについて話し合いなさい。
14. 二言語・多言語の使用 不完全言語使用について調べ、ノートを作りなさい。
15. 本を読んでみて、どんなテスト問題がふさわしいか。
16. ポスター・論文レポートのテーマを話し合ってください。
17. 最終レポートをペアで作成する上で、どんなテーマがおもしろいかを話し合いなさい。
18. で、来週もありますよ!この授業。来週、発表テーマを十分に考え決めておいてください。

1.2 井上作品と筒井作品のそれぞれにおける文の長さに違いはあるか。

1.2.1 どうすれば文の長さが測定できるか。

```
% cat inoue.txt | sed -e 's/。 /。 \n/g; s/ //g' | awk '{if(length($1) > 0){print $1,length($1)}}'  
| awk '{print $2}' | sturges -c | graph -TX
```

1.2.2 結果を見て話し合いなさい。

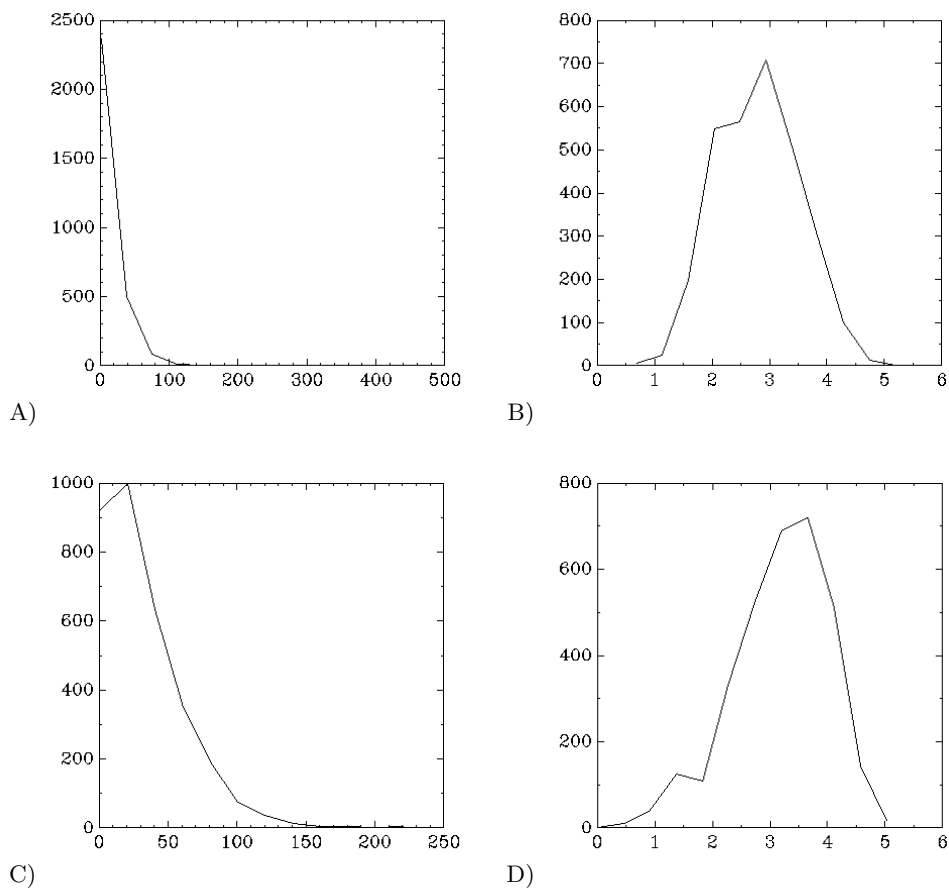


図1 井上ひさし「ブンとファン」A, B、筒井康隆「エディプスの恋人」の文長 C, D。BD はそれぞれの数値を対数変換したもの。

1. 対数変換するのはなぜか。
2. 対数変換する前、どのような分布型であったか。
3. 対数変換したら、どのような分布型になったか。
4. 文の長さの分布はどのような分布であるかを、話し合いなさい。
5. 井上作品と筒井作品の文の長さの違いについて話し合いなさい。
6. それぞれの分布型が同じである、違うものであると判定するにはどうすればよいか。

1.3 言語の比較

以下の2つの言語は、いずれも数万人から数十万人によって現在も話されている言語である。これら2つの言語の違いについて述べよ。

アイスランド語

話者数は30万人程度で、言語系統はインド・ヨーロッパ語族、ゲルマン語派、北ゲルマン語群、西スカンジナビア諸語、アイスランド語である。(ウィキペディア「アイスランド語」より)

アイスランド語(アイスランド語)はインド・ヨーロッパ語族ゲルマン語派北ゲルマン語群に属する言語。使用範囲はアイスランドのみで、使用人口は約30万人。

アイスランドを「氷島」と表記することから「氷島語」略して「氷語」や「氷」とも言う。

9世紀にノルウェーから移住したヴァイキングがもたらしたものであり、他の北ゲルマン語(デンマーク語・ノルウェー語・スウェーデン語)の中ではノルウェー語と一番近い。

他の北ゲルマン語が失った3性(他の北ゲルマン語は両性名詞(共性名詞)と中性名詞だけ)や格変化などを保持し、また格変化などの必要性により、英語やフランス語などからの借用語を極力排しているため、古風な色合いを強く残している。

グリーンランド語

もしくは、カラーリット語(Kalaallisut)。言語系統としては、エスキモー・アレウト語族、エスキモー諸語などグリーンランド語である。(ウィキペディア「グリーンランド語」より)

グリーンランド語(Greenlandic, Greenlandic Inuktitut)はエスキモー・アレウト語族の言語のひとつ。デンマーク領グリーンランドのカラーリット(グリーンランド・イヌイット)によって話されておりカナダのイヌクティトゥット語などと同族である。

イヌクティトゥット語のうちグリーンランドで話される諸方言をグリーンランド語と呼ぶことと、イヌクティトゥット語の一方のカラーリット語(Kalaallisut)をグリーンランド語と呼ぶことがある。広義のグリーンランド語は、西方言のカラーリット語(Kalaallisut)、東方言のトゥヌミート語(Tunumiutut)、北方言のイヌクトゥン語(Inuktitun)があり、話者数ではカラーリット語が約5万7千人と群を抜いており他のエスキモー・アレウト語族の全言語の話者よりも多い。学校などで学習するのはこの西方言である。